

日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック
2022年度（第17回）ソーシャルワーク教育推進大会開催要項

1. はじめに

本大会は、日本社会事業学校連盟（のちに：一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟（学校連盟））が、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和 62 年法律第 30 号）を踏まえて行った「社会福祉援助技術現場実習マニュアル（案）」の策定等を契機として、実習教育の一層の充実のために実習施設・機関と養成校とが、配属実習に関する諸条件、実習の在り方等について研究、協議をするための場として、1988（昭和 63）年度からブロック別に開催することとした「社会福祉援助技術現場実習研究協議会」に始まるものです。そして、社会福祉援助技術現場実習にとどまらず、会員校で実施される学外実習に係る実習前後の教育、指導体制、実習内容、評価等のあり方について議論が重ねられてきました。

2001（平成 13）年に社団法人（のちに：一般社団法人）日本社会福祉士養成校協会（「社養協」）が発足してからは両団体の関東甲信越ブロックの事業に移行、2005（平成 17）年度には「社会福祉士実習教育推進大会」の名称となり、社会福祉士実習にテーマを絞っての大会として運営されてきました。

その後も、社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律（平成 19 年法律第 125 号）による養成課程の見直しに伴い、社会福祉士実習においては実習施設・機関との一層の連携のもとでの実習教育の推進が求められて来たことから、その趣旨を継続して参りましたが、2014（平成 26）年度大会から、名称を「社会福祉士育成推進大会」に変え、福祉人材の育成・確保、任用拡大等も含めた協議の場とし、社会福祉士教育のより一層の発展につなげて行く場とさせていただきます。

さらに、2017（平成 29）年度以降は、学校連盟、社養協、一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会の三団体が合併し、「日本ソーシャルワーク教育学校連盟」となったのに伴い、名称を「ソーシャルワーク教育推進大会」とし、社会福祉士・精神保健福祉士を含めたソーシャルワーク教育について、関係者が協議し、より一層の発展につなげていく場としてまいりました。

2. 第17回大会全体会テーマ

2021（令和 3）年度入学生より、4 年制大学等においては、社会福祉士、精神保健福祉士の新たな養成カリキュラムへの取り組みが開始された。2022（令和 4）年度以降、修業年限等に合わせ、順次適用が開始され、2024（令和 6）年度末に実施予定の国家試験から、新たな教育内容に基づく試験問題が出題される。

今回の見直しにおいては、社会福祉士養成に関連して、「地域における多様な福祉ニーズや多職種・多機関協働、社会資源の開発等の実態を学ぶことができるよう」にとの主旨で、実習の教育内容を見直すとともに、実習時間数を 180 時間から 240 時間に拡充されることとなった。

「機能が異なる 2 以上の実習施設」で、「1 の実習施設において 180 時間以上の実習を基本とすること」とされているが、2 つの実習それぞれ及び実習全体としての到達目標の設定と評価の方法をどうするのか、実習指導の授業をどう組み立てていくのか、実習時間の増加に伴う現場の負担等について検討を深めたい。

プログラムには、養成校教員も現場の実習指導者も通しで参加していただけます。

3. 開催日時

2022 年 12 月 17 日（土）13:00～17:00

4. 大会会場

Zoom ミーティング

5. 参加予定者

日本ソーシャルワーク教育学校連盟ならびに社会福祉施設・機関関係者、高等学校教職員、学生・大学院生、その他に関心のある方。

6. 大会参加費

無料

7. 参加申し込み方法

下記より（コントロールキーを押しながらクリックしてください）、12 月 3 日（土）までにお申し込みください。

[2022年度（第17回）ソーシャルワーク教育推進大会 \(google.com\)](https://www.google.com)

8. お問い合わせ先

船水浩行 東海大学

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目 4-1-1 東海大学湘南キャンパス

TEL 代表 0463-58-1211（内線 3692）

ダイヤルイン 0463-63-4976

e-mail funamizu@is.icc.utokai.ac.jp

9. 主催

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 関東甲信越ブロック 神奈川支部

10. 協力

公益社団法人 神奈川県社会福祉士会

11. 後援

神奈川県社会福祉協議会（予定）

12. 日程

12:40 Zoom ミーティング入室開始

13:00 開会挨拶等

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 関東甲信越ブロック運営委員長 船水浩行
開催支部代表挨拶

13:10-13:30 改めて、今回の養成課程見直しの意図とポイントの確認
実習時間増の意図するところを中心に
東海大学 船水浩行

13:35-15:00 養成校における実習・実習指導のスケジュールや指導体制

実習施設や実習時間の拡充など新たな養成カリキュラムの取り組みが開始されたことにより、各養成校では実習・実習指導に関する授業プログラムの再構築が喫緊の課題となっており、その具体的な対応については現在模索中である。そこで、新たな養成カリキュラムに鑑みて、今後の社会福祉士の将来像を踏まえながら、実習・実習指導のスケジュールや指導体制、複数施設実習における目標設定と評価などについて意見交換も含めて検討を行いたい。

話題提供 関東学院大学 麦倉泰子、田園調布学園大学 小平隆雄、
YMCA 健康福祉専門学校 大西史浩

進行 和泉短期大学 中安恆太

15:10-16:40 「実習施設における実習プログラムや受け入れ体制について」 公益社団法人 神奈川県社会福祉士会 実習指導者フォローアップ研修

新たな社会福祉士養成カリキュラムが実施されたことにより、実習生を受け入れる施設・機関にも新たな対応が迫られている。その内容はプログラムの構成や養成校との連携、評価に至るまで検討すべき点は多岐にわたっており、実習施設はどのように対応すべきか課題は多い。ここでは、新カリキュラムに対応したプログラムを作成して検証を行った施設からの実践報告をおこない、そこから見えてきた課題を整理して、これからの実習生の受け入れの在り方について考えてみたい。

報告者：

公益社団法人神奈川県社会福祉士会実習指導者養成事業部委員・実習指導者講習会実習プログラミング論講師
中尾 健太郎（横浜市東部地域療育センター通園課園長）

進行：

公益社団法人神奈川県社会福祉士会会長 隅河内 司（田園調布学園大学教授）

16:45 開会挨拶

開催支部・次期開催県支部

17:00 閉会